

息を詰めて観察しよう

テーマ 普段目で観察できない水生動物の水中での生活・呼吸方法を観察します。

時間 2時間以内

場所 川

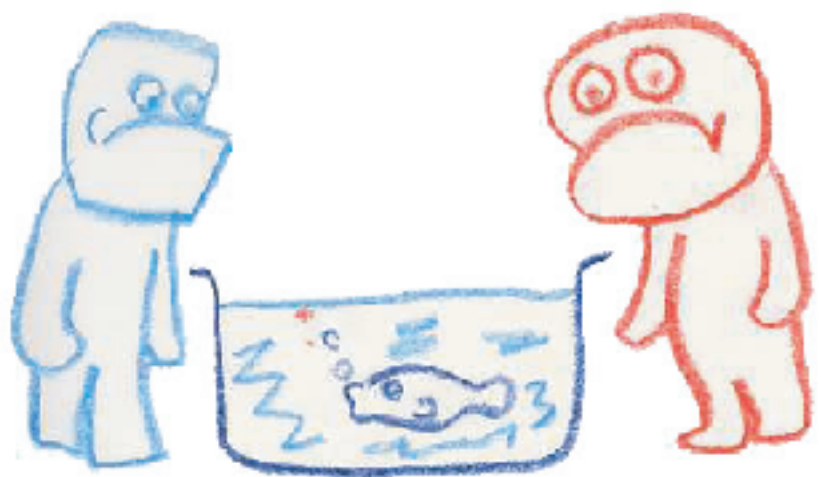
人数 一人・数名
数十名

季節 春・夏・秋・冬

用具 淡水生物（ザリガニ・魚・おたまじやくし・ヤゴ）・浅めの容器・水・食用色素・スポイト

ながれ

1. 水生生物1匹を水の入った浅い容器に入れましょう。
2. その生物が水中でどのような呼吸をしているか予想してみましょう。
3. その生物の口あたりに食用色素をスポイトで一滴落とし、どのように吸い込まれどこから吐き出されるか観察してみましょう。
4. 観察より呼吸パターンをまとめ、予想と比較してみましょう。



ポイント

呼吸数を1分あたりで計算してみましょう。
(15秒あたりの回数×4) 人より速い呼吸数が出ます。それがなぜか話し合ってみましょう。